

# 2026年3月期 第2四半期(中間期)決算短信[日本基準](連結)

2025年11月14日

上場会社名 株式会社ユニバンス

上場取引所

東

コード番号 7254 URL https://www.uvc.co.jp/

代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名) 高尾 紀彦

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 藤崎 一 TEL 053-576-1311

2025年11月14日 配当支払開始予定日 2025年12月9日 半期報告書提出予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 無 決算説明会開催の有無 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第2四半期(中間期)の連結業績(2025年4月1日~2025年9月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上	高	営業利	益	経常利	J益	親会社株主に 中間純:	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	27,956	1.2	2,188	1.1	2,316	3.0	1,067	43.7
2025年3月期中間期	28,290	13.2	2,213	62.0	2,387	61.3	1,895	71.5

(注)包括利益 2026年3月期中間期 1,653百万円 (50.5%) 2025年3月期中間期 1,099百万円 (55.6%)

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円銭	円銭
2026年3月期中間期	51.18	
2025年3月期中間期	91.01	

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期中間期	47,573	28,167	59.2
2025年3月期	44,892	26,643	59.3

2026年3月期中間期 28,141百万円 2025年3月期 26,637百万円 (参考)自己資本

### 2. 配当の状況

			年間配当金		
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
2025年3月期		7.00		7.00	14.00
2026年3月期		8.00			
2026年3月期(予想)				8.00	16.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2026年 3月期の連結業績予想(2025年 4月 1日~2026年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上	高	営業和	引益	経常和	引益	親会社株主に 当期純		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	53,500	0.8	3,200	20.6	3,300	24.9	1,600	45.7	76.75

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(2025年11月14日)公表いたしました「2026年3月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

### 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

注)詳細は、添付資料P8「2.中間連結財務諸表及び主な注記(4)中間連結財務諸表に関する注記事項(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無 以外の会計方針の変更 : 無 会計上の見積りの変更 : 無 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

期末自己株式数

期中平均株式数(中間期)

2026年3月期中間期	23,396,787 株	2025年3月期	23,396,787 株
2026年3月期中間期	2,528,333 株	2025年3月期	2,566,772 株
2026年3月期中間期	20,846,443 株	2025年3月期中間期	20,830,021 株

第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大き〈異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P2「1.経営成績等の概況 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

# ○添付資料の目次

1.	経営	営成績等の概況	2
	(1)	当中間期の経営成績の概況	2
	(2)	当中間期の財政状態の概況	2
	(3)	連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2.	中間	間連結財務諸表及び主な注記	3
	(1)	中間連結貸借対照表	3
	(2)	中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	5
		中間連結損益計算書	5
		中間連結包括利益計算書	6
	(3)	中間連結キャッシュ・フロー計算書	7
	(4)	中間連結財務諸表に関する注記事項	8
		(継続企業の前提に関する注記)	8
		(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
		(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
		(中間連結貸借対照表に関する注記)	8
		(中間連結損益計算書に関する注記)	8
		(中間連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
		(セグメント情報等の注記)	9
		(関連情報)	11

#### 1. 経営成績等の概況

#### (1) 当中間期の経営成績の概況

当社グループの当中間連結会計期間における売上高は、主に米国追加関税発動前の駆け込み需要による売上増加や、タイバーツに対する円安に伴う為替換算影響、原材料価格上昇に対する販売価格是正の進展による売上増加影響があったものの、日本拠点における一部顧客の在庫調整や中国市場における日系自動車メーカーの販売不振等により279億56百万円となり、前年同期に比べ3億33百万円(1.2%)の減少となりました。

利益面におきましては、売上減少に加え、賃上げによる労務費と仕入コストの増加等の減益影響がありましたが、円安による為替影響や収益改善活動による利益増加影響により、営業利益はほぼ前年同期並みの21億88百万円(前年同期比1.1%の減少)、経常利益は23億16百万円(前年同期比3.0%の減少)となりました。しかしながら、当社連結子会社である遠州クロムの工場敷地内における土壌および地下水汚染への対応に関し、今後の工場移転に伴い不要となる有形固定資産の減損損失1億18百万円と、土壌修復工事方法の変更に伴う追加の支払見込み額等5億84百万円を環境対策引当金繰入額として、それぞれ特別損失に計上したことにより、親会社株主に帰属する中間純利益は10億67百万円(前年同期比43.7%の減少)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### <ユニット事業>

売上高は、主にアジア拠点において米国追加関税発動前の駆け込み需要による売上増加や、タイバーツに対する 円安に伴う為替換算影響、原材料価格上昇に対する販売価格是正の進展による売上増加影響があったものの、日本 拠点における一部顧客の在庫調整の影響等により186億23百万円(前年同期比1.2%の減少)となりました。セグメ ント利益につきましては、日本拠点での操業度低下による利益減少影響はありましたが、アジア拠点での操業度向 上や為替影響、さらに販価是正による利益増加影響により24億59百万円(前年同期比10.8%の増加)となりまし た。

#### <部品事業>

売上高は、主に日本拠点における中国市場での日系自動車メーカーの販売不振や一部顧客からのオーダー減少の影響により、93億17百万円(前年同期比1.1%の減少)となりました。セグメント利益につきましては、米国拠点において顧客の好調な販売に伴い操業度が向上したことや工程改善活動による付加価値向上により利益増加影響はあったものの、日本拠点における売上減少影響に加え製品保証引当金の計上や賃上げによる労務費と仕入れコストの増加等により2億82百万円の損失(前年同期は18百万円の損失)となりました。

#### <その他>

セグメント利益につきましては、8百万円の利益(前年同期比22.0%の減少)となりました。

### (2) 当中間期の財政状態の概況

当中間連結会計期間末における総資産は、有形固定資産が減少しましたが、主に現金及び預金、受取手形及び売掛金と投資有価証券が増加したことにより、前連結会計年度末に比べ26億81百万円増加し475億73百万円となりました。

負債につきましては、借入金が減少しましたが、主に環境対策引当金と支払手形及び買掛金が増加したことにより、前連結会計年度末に比べ11億56百万円増加し194億5百万円となりました。

純資産につきましては、主に利益剰余金とその他有価証券評価差額金が増加したことにより、前連結会計年度末に比べ15億24百万円増加し281億67百万円となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の連結業績予想につきましては、2025年5月12日に公表しました通期の連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日(2025年11月14日)公表の「2026年3月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

# 2. 中間連結財務諸表及び主な注記

# (1)中間連結貸借対照表

(1) 中间建裕其恒对思衣		(単位:千円)
	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7, 978, 884	9, 158, 311
受取手形及び売掛金	8, 546, 506	9, 684, 650
製品	897, 091	765, 062
仕掛品	1, 187, 337	1, 306, 348
原材料及び貯蔵品	3, 242, 556	2, 968, 472
その他	1, 936, 886	2, 034, 747
貸倒引当金	△4, 736	$\triangle 5, 162$
流動資産合計	23, 784, 526	25, 912, 430
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	17, 442, 824	17, 848, 419
減価償却累計額及び減損損失累計額 _	△12, 268, 283	$\triangle 12, 538, 757$
建物及び構築物(純額)	5, 174, 540	5, 309, 66
機械装置及び運搬具	77, 820, 147	77, 026, 935
減価償却累計額及び減損損失累計額 _	△71, 170, 070	△71, 193, 75
機械装置及び運搬具(純額)	6, 650, 076	5, 833, 184
工具、器具及び備品	6, 863, 596	6, 968, 43
減価償却累計額	$\triangle 6, 338, 038$	$\triangle 6, 428, 175$
工具、器具及び備品 (純額)	525, 558	540, 255
土地	2, 469, 148	2, 388, 249
リース資産	114, 620	174, 452
減価償却累計額	△64, 441	△78, 187
リース資産(純額)	50, 178	96, 265
建設仮勘定	255, 024	413, 499
有形固定資産合計	15, 124, 527	14, 581, 116
無形固定資産	952, 682	927, 305
投資その他の資産		
投資有価証券	4, 524, 190	5, 647, 511
繰延税金資産	433, 428	437, 132
その他	73, 307	68, 275
投資その他の資産合計	5, 030, 927	6, 152, 919
固定資産合計	21, 108, 137	21, 661, 341
資産合計	44, 892, 664	47, 573, 771

(単位:千円)

	457445 A 31 Fr F	(単位・1円)
	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5, 654, 958	6, 194, 561
短期借入金	271, 828	200, 000
未払金	1, 158, 738	1, 081, 165
未払費用	1, 238, 924	1, 260, 82
リース債務	32, 591	41, 20
未払法人税等	551, 925	624, 85
賞与引当金	799, 726	785, 469
役員賞与引当金	7, 600	3, 93
株式報酬引当金	17, 012	8, 329
製品保証引当金	742, 327	730, 44
その他	594, 735	612, 48
流動負債合計	11, 070, 368	11, 543, 27
固定負債		
長期借入金	250, 000	150, 00
リース債務	25, 929	68, 03
繰延税金負債	1, 315, 817	1, 538, 02
役員退職慰労引当金	84, 105	84, 10
環境対策引当金	2, 338, 570	2, 892, 82
資産除去債務	181, 716	181, 89
退職給付に係る負債	2, 982, 801	2, 947, 70
固定負債合計	7, 178, 940	7, 862, 59
負債合計	18, 249, 308	19, 405, 86
純資産の部		, ,
株主資本		
資本金	3, 500, 000	3, 500, 000
資本剰余金	2, 172, 602	2, 178, 712
利益剰余金	16, 679, 231	17, 600, 423
自己株式	$\triangle 692,764$	△682, 33
株主資本合計	21, 659, 069	22, 596, 800
その他の包括利益累計額		, ,
その他有価証券評価差額金	2, 223, 353	2, 654, 930
為替換算調整勘定	2, 410, 702	2, 595, 84
退職給付に係る調整累計額	344, 756	293, 905
その他の包括利益累計額合計	4, 978, 812	5, 544, 67
非支配株主持分	5, 473	26, 42
純資産合計	26, 643, 355	28, 167, 903
負債純資産合計	44, 892, 664	47, 573, 77
只识心具压口口	44, 092, 004	41, 313, 11

# (2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 (中間連結損益計算書)

(単位:千円) 当中間連結会計期間 前中間連結会計期間 2024年4月1日 (自 2025年4月1日 (自 2024年9月30日) 2025年9月30日) 至 至 28, 290, 468 売上高 27, 956, 516 売上原価 23, 236, 224 22, 800, 239 売上総利益 5, 054, 244 5, 156, 277 販売費及び一般管理費 267, 083 運賃及び荷造費 238, 133 人件費 1, 312, 539 1, 358, 194 減価償却費 179, 198 191,885 賞与引当金繰入額 189,073 182, 935 退職給付費用 20,672 16,633 その他 871, 705 979, 524 販売費及び一般管理費合計 2, 967, 306 2,840,273 営業利益 2, 213, 970 2, 188, 970 営業外収益 受取利息 3, 392 24,802 受取配当金 69, 398 77, 550 受取賃貸料 4,663 5, 149 72, 705 為替差益 63, 777 1,236 受取補償金 その他 35,840 47, 364 営業外収益合計 187, 236 218,644 営業外費用 7,336 2,099 支払利息 外国源泉税 3, 158 67, 200 為替差損 4,286 その他 2,984 17, 144 営業外費用合計 13, 480 90,731 経常利益 2, 387, 727 2, 316, 883 特別利益 固定資産売却益 2,655 43, 176 投資有価証券売却益 25, 489 特別利益合計 2,655 68,665 特別損失 固定資産売却損 8,691 12,956 9, 138 固定資産除却損 減損損失 3,270 119,590 環境対策費 2,295 930 環境対策引当金繰入額 584,650 特別損失合計 17, 156 724, 365 税金等調整前中間純利益 2, 373, 225 1,661,183 法人税等 477, 455 573,033 中間純利益 1,895,770 1,088,150 非支配株主に帰属する中間純利益 21, 149 親会社株主に帰属する中間純利益 1,895,770 1,067,000

# (中間連結包括利益計算書)

(中間連結包括利益計算書)		
		(単位:千円)
	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益	1, 895, 770	1, 088, 150
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△708, 916	431, 577
為替換算調整勘定	△52, 804	185, 131
退職給付に係る調整額	△34, 917	△51, 041
その他の包括利益合計	△796, 638	565, 667
中間包括利益	1, 099, 132	1, 653, 817
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	1, 099, 132	1, 632, 865
非支配株主に係る中間包括利益	<del>-</del>	20, 952

# (3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日	(単位: 十円) 当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日
	至 2024年9月30日)	至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	2, 373, 225	1, 661, 183
減価償却費	1, 589, 765	1, 472, 791
減損損失	3, 270	119, 590
環境対策引当金の増減額(△は減少)	△57, 274	△30, 395
製品保証引当金の増減額(△は減少)	△172, 468	$\triangle 23,543$
賞与引当金の増減額 (△は減少)	1,530	△17,830
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△11, 031	△3, 662
株式報酬引当金の増減額(△は減少)	3, 968	7, 910
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△921	426
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△42, 148	△90, 593
受取利息及び受取配当金	$\triangle$ 72, 790	△102, 353
支払利息	7, 336	2,099
為替差損益(△は益)	$\triangle 9,952$	41,672
固定資産除売却損益(△は益)	10, 301	△25, 346
投資有価証券売却損益(△は益)	_	△25, 489
環境対策費	930	2, 295
環境対策引当金繰入額	_	584, 650
その他の損益(△は益)	22, 029	△1, 350
売上債権の増減額(△は増加)	836, 218	$\triangle 1, 240, 845$
棚卸資産の増減額(△は増加)	59, 720	317, 007
その他の流動資産の増減額(△は増加)	248, 326	235, 712
その他の固定資産の増減額(△は増加)	8, 285	54, 263
仕入債務の増減額(△は減少)	△778, 834	546, 334
未払費用の増減額(△は減少)	$\triangle 2, 193$	16, 803
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△19, 868	23, 593
その他の固定負債の増減額(△は減少)	172	176
小計	3, 997, 599	3, 525, 101
利息及び配当金の受取額	72, 790	102, 353
利息の支払額	$\triangle 7$ , 108	△986
環境対策費の支払額	△43, 638	$\triangle 3,512$
法人税等の支払額	△479, 393	△557, 929
法人税等の還付額	975	1, 489
営業活動によるキャッシュ・フロー	3, 541, 224	3, 066, 515
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	$\triangle 1,066,073$	△1, 095, 190
有形固定資産の除却による支出	$\triangle 6,407$	△7, 736
有形固定資産の売却による収入	2, 695	46, 592
無形固定資産の取得による支出	△49, 032	△21, 420
投資有価証券の取得による支出	△80, 385	△502, 021
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1, 199, 203	$\triangle 1,579,776$
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△1, 011, 198	△171, 828
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△11, 279	$\triangle 15,413$
自己株式の取得による支出	△5	△57
配当金の支払額	△124, 616	△145, 405
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1, 147, 099	△332, 704
現金及び現金同等物に係る換算差額	△10, 736	25, 392
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1, 184, 184	1, 179, 426
現金及び現金同等物の期首残高	5, 196, 795	7, 978, 884
現金及び現金同等物の中間期末残高	6, 380, 980	9, 158, 311

### (4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

## (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

### (中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

#### (税金費用の計算)

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

### (中間連結貸借対照表に関する注記)

当社は、財務基盤の安定性確保及び運転資金の効率的な調達を目的として、取引銀行との間でコミットメントライン契約を締結しております。コミットメントライン契約に係る借入未実行残高は、次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
コミットメントライン契約の総額	1,000,000 千円	3,000,000 千円
借入実行残高	_	_
差引額	1, 000, 000	3, 000, 000

### (中間連結損益計算書に関する注記)

### 減損損失及び環境対策引当金繰入額

当社連結子会社である遠州クロムの工場敷地内における土壌および地下水汚染への対応に関し、これまで同敷地での操業を継続しながらの段階的な土壌掘削を前提として環境対策引当金を計上しておりましたが、当中間連結会計期間において、工場移転を伴う敷地土壌修復の早期化が必要と判断し計画の見直しを行った結果、今後の工場移転に伴い不要となる有形固定資産の減損損失(118,289千円)と、土壌修復工事方法の変更に伴う追加の支払見込み額等を環境対策引当金繰入額(584,650千円)として、それぞれ特別損失に計上しております。

### (中間連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

現金及び現金同等物の中間期末残高と中間連結貸借対照表に掲載されている科目の金額との関係は下記のとおりであります。

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
現金及び預金勘定	6, 380, 980 千円	9, 158, 311 千円
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	_	_
現金及び現金同等物	6, 380, 980	9, 158, 311

# (セグメント情報等の注記)

### 【セグメント情報】

- I 前中間連結会計期間(自2024年4月1日 至2024年9月30日)
  - 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他		調整額	中間連結 損益計算書
	ユニット 事業	部品事業		合計	(注) 2	計上額 (注) 3	
売上高							
外部顧客への売上高	18, 854, 305	9, 420, 287	28, 274, 592	15, 876	28, 290, 468	_	28, 290, 468
セグメント間の内部 売上高又は振替高	_	-	_	163, 051	163, 051	△163, 051	_
計	18, 854, 305	9, 420, 287	28, 274, 592	178, 927	28, 453, 520	△163, 051	28, 290, 468
セグメント利益又は損 失 (△)	2, 219, 244	△18, 426	2, 200, 817	10, 277	2, 211, 094	2, 876	2, 213, 970

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流事業および工場附帯 サービス事業等を含んでおります。
  - 2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去およびセグメント間未実現利益消 去であります。
  - 3. セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
- 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報 (固定資産に係る重要な減損損失)

重要性が乏しいため記載を省略しております。

- Ⅱ 当中間連結会計期間(自2025年4月1日 至2025年9月30日)
  - 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他		調整額	中間連結 損益計算書
	ユニット 事業	部品事業	計	(注) 1		(注) 2	計上額 (注) 3
売上高							
外部顧客への売上高	18, 623, 254	9, 317, 097	27, 940, 351	16, 164	27, 956, 516	_	27, 956, 516
セグメント間の内部 売上高又は振替高	_	ı	_	154, 894	154, 894	△154, 894	I
計	18, 623, 254	9, 317, 097	27, 940, 351	171, 058	28, 111, 410	△154, 894	27, 956, 516
セグメント利益又は損 失 (△)	2, 459, 672	△282, 742	2, 176, 930	8, 014	2, 184, 944	4, 026	2, 188, 970

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流事業および工場附帯 サービス事業等を含んでおります。
  - 2. セグメント利益又は損失 (△) の調整額は、セグメント間取引消去およびセグメント間未実現利益消去であります。
  - 3. セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
- 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

#### (固定資産に係る重要な減損損失)

当社の連結子会社である遠州クロムの土壌および地下水汚染への対応に関し、将来の工場移転計画に伴い、その土地、及び一部の建物及び構築物について将来の使用見込みがなくなったことから、帳簿価額を回収可能額まで減額しました。なお、土地の回収可能価額は正味売却価額により測定しており、不動産鑑定士による不動産鑑定評価額をもとに評価しております。また建物及び構築物の回収可能価額は正味売却価額により測定しておりますが、汚染除去工事のため取り壊すことが予定されており、備忘価額をもって評価しております。

この結果、当中間連結会計期間において、「部品事業」セグメント118,289千円の減損損失を特別損失に計上しました。

# (関連情報)

# 所在地別情報

I 前中間連結会計期間(自2024年4月1日 至2024年9月30日)

	日本 (千円)	北米 (千円)	アジア (千円)	計 (千円)	調整額(千円)	中間連結 損益計算書 計上額 (千円)
売上高						
外部顧客への売上高	12, 478, 314	3, 675, 890	12, 136, 264	28, 290, 468	_	28, 290, 468
内部売上高	4, 015, 839	43, 002	1, 838, 401	5, 897, 244	△5, 897, 244	-
<b>∄</b> +	16, 494, 153	3, 718, 893	13, 974, 666	34, 187, 713	△5, 897, 244	28, 290, 468
営業利益又は営業損失(△)	741, 336	△97, 798	1, 500, 004	2, 143, 541	70, 429	2, 213, 970

- (注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。
  - 2. 本邦以外の区分に属する主な国々又は地域
    - (1) 北米……アメリカ
    - (2) アジア……インドネシア、タイ
  - Ⅱ 当中間連結会計期間(自2025年4月1日 至2025年9月30日)

	日本 (千円)	北米 (千円)	アジア (千円)	計 (千円)	調整額 (千円)	中間連結 損益計算書 計上額 (千円)
売上高						
外部顧客への売上高	10, 692, 491	3, 919, 048	13, 344, 976	27, 956, 516	_	27, 956, 516
内部売上高	4, 156, 540	42, 176	1, 958, 743	6, 157, 460	△6, 157, 460	-
計	14, 849, 031	3, 961, 224	15, 303, 720	34, 113, 976	△6, 157, 460	27, 956, 516
営業利益又は営業損失(△)	△241, 936	275, 050	2, 114, 392	2, 147, 507	41, 463	2, 188, 970

- (注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。
  - 2. 本邦以外の区分に属する主な国々又は地域
    - (1) 北米……アメリカ
    - (2)アジア……インドネシア、タイ